

# 英語の絵本の読み聞かせ —心にしみいる授業をめざして—

宮崎 操<sup>1</sup>

要旨：小学校英語教育では英語の絵本の読み聞かせが行われているようだが、中・高・高専・大学ではほとんど行われていない。学生たちには不要なのだろうか、それとも遅すぎるのか。

トレリース<sup>1)</sup>(1987)は言う。「小学校から高校まで、絵本は読み聞かせのリストに必要なだ。」カルキンズ<sup>2)</sup>(2010)、クラッシュエン<sup>3)</sup>(1996)は、学生たちに絵本の読み聞かせをするのはとても重要だ、と言っている。多読等で英語の本を読むよりも前に、教師の英語の読み聞かせを聞きながら絵を眺めるのは、学生・生徒にとって必要で有益ではないだろうか。学生たちは驚くほど静かに聞き入り、楽しんでいて、拙論はどのように読み聞かせをし、なぜそれが必要で有効なのかを論じる。

キーワード：読み聞かせ、読書調査、しみいる時間、竹取物語絵巻、鳥獣戯画、あさどく

## 1. はじめに—英語教育の背景

### 1. 1 実用に傾斜する英語教育

文部科学省が平成14-15年に「英語が使える日本人育成のための戦略構想・行動計画」を発表して以来、英語の授業は実用へ、という傾向が強まった感がある。CALL・e-learning・TOEIC等のしかけ、shadowing等の通訳技術・多読等による技能習得で、学生の英語力やTOEICの点数が向上し、就職に役立てば、まさにそれは生きていく力である。筆者もCALL・e-learningを推進し、授業ではshadowingを指導してきた(宮崎<sup>4)</sup>, 2009)。

文学の授業も減った(江利川<sup>5)</sup>, 2004)。文学ばかり、も問題だったが、実用ばかり、もどうなのか。情緒的なものや楽しいことが排除されて、実用・効率重視の息苦しさは、筆者のみならず学生も、ことばにならなくても感じているのではないだろうか。

### 1. 2 授業を楽しく

日本人は「oo単」片手に難行苦行の英語道を来たものの、多くの人が話せない。かつこれまでの方法が苦しい。息苦しさ故に話せないのか、または結果が出ないゆえにしんどいのだろうか。

文法訳読指導法については日本の英語教育学界でも議論がある。アメリカでも文法指導については、議論があるようである。

クラッシュエン<sup>3)</sup>(1996)は、

「言語の文法はあまりにも複雑すぎて用法や用例を一つ一つ計画的に、意識的に覚えることはできない、と多くの学者が言っている。」(pp.30)

と述べて7件の文献を挙げている。このように明示的文法指導を否定し、結論として彼は読書を奨めている。その前に絵本で、さらにその前に絵本の読み聞かせで道をつけてやりたい。筆者は英語の絵本の読み聞かせの他に、ジャズチャンツ(宮崎2011<sup>6)</sup>, 宮崎2013<sup>7)</sup>)と、ポップスを授業で、映画は宿題・補講で取り入れている。授業を少しでも楽しくするために、絵本・歌・映画等のauthenticな(ほんものの)英語で、学生たちに文化を直接見せて聞かせて、口を動かすようにさせたい。

### 1. 3 小学校英語教育から学ぶ

2012年度から小学校5・6年生の英語が必修となり、チャンツ・歌・絵本の読み聞かせ・ごっこ遊びで小学生は楽しく学んでいる。しかし、高校生・大学生に英語の絵本の読み聞かせをしている教員はほとんどいない。高校生や大学生にはもう絵本は不要で、ふさわしくないのだろうか。後述するが、実践の結果、そうは思えない。絵本の読み聞かせ、その先の読書は、高校生になっても遅すぎることはない。その体験は心のどこかにしみこんで蓄積し、生きる力をつける、と筆者は考える。

トレリス<sup>1)</sup>(1987)を引用する。

「絵本をやめる時」はない...美しく感動的な絵は5歳児の心も15歳の少年少女の心も揺さぶる。絵本は小学校から高校までのすべてのクラスの読み聞かせリストに加えるべきである。」

## 2. 先行研究

高校・大学生への英語の絵本の読み聞かせの先行研究はない。子どもへの日本語の絵本の読み聞かせの研究は多数ある。また小学生への英語の絵本の読み聞かせの文献は、松浦・伊藤<sup>8)</sup>(2012)、山崎<sup>9)</sup>(2009)、小松・西垣<sup>10)</sup>(2007)の3件がある。大学生への日本語の絵本の読み聞かせは、前島<sup>11)</sup>(1998)がある。それ以外の、脇<sup>12)</sup>(2005)、矢嵐<sup>13)</sup>(2003)等多数の著作・文献は、すべて母語(日本語)で子どもへの絵本や文学の読み聞かせに関するものである。

翻訳されている海外文献では、クラッシュン<sup>3)</sup>(1996)には、母語(英語)で主に子どもを対象に、絵本とは書いていないが読み聞かせの報告が11件と、読書についての研究が多数記載されている。カルキンズ<sup>2)</sup>(2010)は読み聞かせの重要性と、そこから読書指導へと導く指導法を詳述している。ミーク<sup>14)</sup>(2003)は読書の効用を説く。特にクラッシュンについては「5. 3. 2読書の効用」で述べる。トレリス<sup>1)</sup>(1987)はすでに引用した。この他読書・readingの文献は多数ある。絵本のガイドブックは別冊太陽など多数ある。

## 3. 絵本・読書の背景

### 3. 1 絵本の定義

COLINS COBUILD ENGLISH LANGUAGE DICTIONARY(1987)では“picture book : a book with a lot of pictures in it and not much writing, often a children's book”「絵が多く、文字はあまり多くない子どもの本」となっている。トレリス<sup>1)</sup>(1987)は言葉のない絵だけの絵本の効用を述べている。良い絵本は、文もよい、絵もよい、かつ文と絵の組み合わせ・ページの配分が絶妙である。絵と文があれば絵本だ、とは言えない。

「読み聞かせ」は「読み語り」(本田<sup>15)</sup>, 2009)としている本もあり、特に定義している文献は見あたらなかった。

### 3. 2 絵本の史的背景

三宅<sup>16)</sup>(1997)は「絵と文の組み合わせだけをとり出せば、何千年も前から、文明のあるところで見られ、長い歴史を持っている。」としている。日本には10世紀ごろまでに成立した最古の物語『竹取物語』がある。国語検定教科書中学1年(樺島・宮地他<sup>17)</sup>, 2012)、高校検定教科書(稲賀・竹盛<sup>18)</sup>, 2010)にも載っているので、中・高校生の鑑賞に適切、と文部科学省が判断

したのであろう。竹取物語の絵巻の成立はもう少し後と思われる。現代語訳・英訳で多くの『竹取物語』の絵本が出版されており、竹取物語を絵本と考えてよいと判断する。ヘリング<sup>19)</sup>(1988)は日本の児童文学史研究の偏りを指摘している。

「児童文学史を扱っている本のたいがい明治時代より前の時代には注目に値するものがなかったとして、全く無視している。」(ヘリング<sup>19)</sup>, 1988, pp.29)

日本には源氏物語絵巻をはじめ、多数の絵巻がある。中空から見て雲のあい間に描く、金色を多用するなど、斬新な視点・技術・ダイナミズムと美しさは、欧米の絵本にはない。また12世紀の鳥獣戯画は手塚治虫にも影響を与えたと言われている。墨一色の流れるような筆使いや、空間が多いシンプルな美しさ等の特徴は、欧米の近年の絵本画家に影響を与えたと言われている。桂<sup>20)</sup>(2011)は鳥獣戯画について、アーバスノット<sup>21)</sup>の“Children and Books”(1947, 1964第3版)『子どもと本』から以下の言及を引用しているようである。

「陽気で動きに満ちた日本の「鳥獣戯画」に比べ、『世界図絵<sup>22)</sup>』(1658, 英訳1659)は面白みがなく、活気に欠けている。しかし英語圏の子どもたちにとって『世界図絵』は子どものために特別に用意された最初の本であった。鳥獣戯画は12世紀のアニメーションである。」

松居<sup>23)</sup>(2007)は12-13世紀の絵巻の技法と伝統について言及している。江戸期の日本の絵本・児童書については前述したヘリング<sup>19)</sup>(1988)が詳述している。

明治期以降の日本の絵本については鳥越(2001<sup>24)</sup>, 2002a<sup>25)</sup>, 2002b<sup>26)</sup>), 三宅<sup>16)</sup>(1997)が詳しい。

イギリスの最初の絵本は前述のコメニウス<sup>22)</sup>の『世界図絵』の英語への翻訳で、英語による最初の子どもの本は『新年の贈り物』(ビューイック<sup>27)</sup>, 1777)である。英米絵本史は桂<sup>20)</sup>(2011)が詳しい。

### 3. 3 読書運動の変遷

櫻井美紀<sup>28)</sup>(1986)から抜粋して引用する。

「1960年に児童文学者の椋鳩十が「母と子の20分間読書」を始めた。それがきっかけとなって「どの子どもにも良い本を」という読書運動が始まった。60年代に子どもの本の出版点数が急速に伸びた。また図書館数も、1960年には700-800だったが1985年には1537と増加した。」(pp.242)

舞鶴市立東図書館の設立は1987年で、当時是一种のブームだったと言えるかもしれない。

### 3. 4 絵本読み聞かせの現況

日本語の絵本の読み聞かせは、全国各地の多くの図書館で実施されている。2012年11月現在、大阪府立中

中央図書館では、ボランティアグループが毎週3回、隔週のボランティアの会が月に2回、年間計181回も開催されている。大阪市立中央図書館では11月に「おはなしたのしいでえ！in大阪2012」というイベントで、絵本読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・絵本原作の人形劇・マルチメディアまで、工作・点字図書の展示も含めて53のプログラムが2日間展開された。各区の大阪市立図書館でも毎週ボランティアの読み聞かせが行われている。

地方都市の1例をあげると、舞鶴市立東図書館では設立の年、昭和62年(1987)つまり25年前に、ボランティアグループの人形劇・読み聞かせが始まっている。それ以前の公民館内の図書室でも実施されていたようだが、記録が残っていない(舞鶴市立東図書館・舞鶴市民新聞調べ)。平成22年度の実績は以下のようであった。

Table 1 :Activity record in the fiscal year 2010 based on Maizuru Municipal Library Annual Report2010<sup>29)</sup>. The table is made by Miyazaki on her own responsibility.

	西図書館	東図書館
おはなし会	20回	19回
その参加者	延べ469人	延べ288人
各小学校でのブックトーク	延べ57時間	延べ64時間

舞鶴市では「ねぎぼうずのあさたろう」(1999)の作家、飯野和好<sup>30)</sup>氏を読み聞かせボランティアグループが招いて講演会を催した。舞鶴市立東西図書館が後援した。飯野氏は三度笠にまわし合羽の扮装で登場して喝采を浴びた、と聞く。このような意欲的な取り組みをする等、図書館の努力が子供たちの読書を支えている、と言えそうである。本稿5. 1読書調査を参照されたい。

#### 4. 実践

##### 4. 1 初回 の授業

*No Roses for HARRY*<sup>31)</sup>(ハリーのセーター)を2012年2月に、筆者の勤務する舞鶴工業高等専門学校1年1組のクラスで読んだ。英文を聞いてあまり理解していない学生もいるようなので、ところどころ日本語に訳した。43人のクラスなので、後列の学生には見えない。そこで、いつも授業で使用しているOHC(Over Head Camera)=教材提示装置=書画カメラで、拡大して見せた。スクリーンに映ると微妙に色が変わる。また絵本のサイズとOHCのカメラのサイズがぴったり合うわけではないので、絵本を移動して部分を映してはまた移動して別の部分を映す、という具合であった。カメラを通さないで頭の上で見開き2ページを時々広げて見せた。

結果は、しーんと水を打ったようであった。このようなことは全く初めての体験で、筆者が感動した。挙手によるアンケートを行ったところ、ほぼ全員が「おもしろかった」と回答した。

##### 4. 2 2回目

1年2組で2012.2.14のバレンタインデーに、「今日はみんなにすてきなプレゼントがあります。」と授業の始まりに前宣伝した。学生たちは何かもらえると思ったかもしれない。ところが何ももらえないので落胆したのか、反応は初回のクラスよりはやや低いものであった。「おもしろかった」に挙手したのは2/3程度であった。クラスによる差かもしれない。あとで廊下で「良かったけど手を挙げにくかった。」と述懐する学生がいて、横並びで周りの反応を見てから挙手する日本人、反抗期の名残か、なかなか素直に挙手できない高校生の姿があった。

##### 4. 3. 3年生に

*Harry the Dirty Dog*<sup>32)</sup>(どろんこハリー)の読み聞かせをした。やはり水を打ったように静かに聞き入っていたが、終わった後、「こんなん何になるの」「何の役にたつの。」という冷めた反応が来た。「これは君たちの心を育てる授業です。共感すればそれでいい。」と応えたが、理系の学生の特徴であろうか。役に立つか、実利は何か、に関心があるようである。それとも3年生なので、批評家を気取っているのだろうか。このような実利重視の傾向は、筆者がかつて教えたが私立大学の教養の学生より高専生に多い、と直感的に感じている。だからこそ、すぐに効果が出なくても、また一見無駄と見えても、絵本の読み聞かせが必要だと考える。その後このfeedbackから学んで、クラッシュを引用して効用を学生に伝えることにした。

##### 4. 4 継続

2012年4月から1年次と同じクラスを2年次へと持ちあがり担当して、絵本の読み聞かせを断続的に実施している。2012年度の3年生は、筆者が1度も担当したことのない学生ばかりだったので、少し慣れたところから読み聞かせを始めた。当初は新奇効果もあって聞き入っていたが、最近では2年生の中には寝る学生も見られるようになってきた。子ども向けの絵本だけではなく、内容を吟味する必要があると考えている。これまでに授業で読んだ本は以下のとおりである。アンケート結果は後の注1)に示す。

- H. A. Rey :Curios George, Boston, Houghton Mifflin Co., 1941.
- Margaret and H. A. REY's, :Curios George visits the zoo, Boston, Houghton Mifflin Co., 1985.
- edited by Margaret Rey and Alan J. Shalleck : Curios George and the Dinosaur, Boston,

Houghton Mifflin Co.,1989.

- Eric Carle :The Very Hungry Caterpillar, New York, Philomel Books, 1969.
- Rieko Nakagawa and Yuriko Ohmura, translated by Howlet Peter, Mc Namara Richard, *Guri and Gura*, Tokyo, チャールズ・イー・タトル社 :中川・大村<sup>33)</sup>『ぐりとぐら』, 東京, 福音館書店,1963) の英訳版

#### 4. 5 舞鶴市立西図書館での読み聞かせ

舞鶴市民新聞社と司書の方の尽力により、舞鶴市立西図書館では、2012.8に筆者による「英語で絵本を楽しもう」が、小中学生を対象に1回、高校生・成人を対象に1回、計2回実施された。

「絵本だけでは30分は持たないので、歌も入れてください。」と、司書の方から要望があった。小・中学生向けの日のテーマは、曜日の言い方と、体の部分、歌もそれに合わせて“Head, Shoulders and Knees and Toes”を指導した。体の部分を学んだあとでは、ワークシートに手や足の英語を答えるクイズを実施した。参加者は小学生15名でアンケートでは「楽しかった。」「勉強になった。」という答えが多かった。

Fig.1 : 「英語で絵本を楽しもう」2012. 8 at Maizuru Municipal West Library. Offered by Maizuru Community Newspaper Company.



Fig.1 (上の写真)では小・中学生を対象に Eric Carle の “The Very Hungry Caterpillar<sup>34)</sup> (1969) の読み聞かせをしているところである。子供たちが身をのりだして、このページの右隅にある、おなか痛そうな表情のあおむしを見つけたところである。

高校生・成人対象の日は、マザーグースからとったチャンツも実施した。参加者は高校生3名、成人12名、計15名だった。特に成人からは楽しかった、と喜ばれた。成人は英語から離れて時間がたつので、“The Little House<sup>35)</sup> (『ちいさいおうち』) のような、なじみのある絵本がわかりやすかったようだった。筆者の服装は黒

い上下で、絵本の色の美しさを生かしたいと考えてこのようにした。

図書館での英語の絵本の読み聞かせは珍しい。大阪市立中央図書館・大阪府立中央図書館でたまに実施されている。

2012.12にも同様に2回実施の予定で、テーマは冬・クリスマスである。

#### 4. 6 読み聞かせ後の反省

- 1) 英語が聴き取れるように、ゆっくりわかりやすく、聴き手に届くように読むほうがよい。
- 2) 読み終わって静かにしみる時間を取った方がよい。
- 3) うまくいくかな、聞き入るかな、等とあまり考えない方がよい。不安やおもねりが声に出る可能性がある。ガイドブックには感情や起伏を入れないで、淡々と読むのが良い、としているものもあった。
- 4) 対象・季節によってふさわしい絵本を選びたい。それにより文化を伝えることができる。
- 5) 幼い頃日本語で読んだ、あるいは聞かせてもらったことのある絵本は話の展開がわかっているだけに、英語に集中しやすく、理解されやすい。これは記憶の研究からも納得がいく。

2) の「しみる時間」は当初はとても照れくさくて、黙ってじっとしているのが苦手であった。しかし筆者も他の多くの人も、映画館で映画を観終わった後は、しばらく余韻に浸ってなかなか立ちあがれない。このことから考えても、余韻に浸る時間、心にしみる時間はぜひともとってやりたい。

以上のようなことがわかった。今後に生かしたい。

#### 5. 絵本読み聞かせの重要性

##### 5. 1 読書調査

Table2 (次ページ左欄の表) は、毎日新聞と全国図書館協議会が共同で実施した、第58回読書調査<sup>注2)</sup> (2012.6月実施、11月公開) から、宮崎が10年ごとの変化を取り出して作成した。

毎日新聞広告局は2011年の調査によせて、「この拡大傾向は朝の全校読書一斉運動(あさどく)や読書ボランティアによる読み聞かせの実施など...と無関係ではないだろう。」としている。(抜粋の文責:宮崎)

高校生の読書冊数が微増、不読者率も微減で、やはり受験の影響が大きいようだ。高校生にこそ読み聞かせなどで手を差し伸べて、読書を推進する必要があると思われる。特に高専生は大学入試の圧迫がなく、3年生頃に中だるみになることもあるので、読書を推進したい。読書はすべての基礎力・総合力を養うと筆者は考える。

Table2 :Survey on Reading<sup>注2)</sup> Jointly Conducted by Ad. Department of Mainichi Newspaper Company and National Library Council. The responsibility of this table is on Miyazaki

調査項目	小学生	中学生	高校生
A :1か月の読書冊数 1982	5.6冊	1.9冊	1.2冊
同 1992	6.5冊	2.1冊	1.3冊
同 2002	7.5冊	2.5冊	1.5冊
同 2012	10.5冊	4.2冊	1.6冊
B :「不読者」1か月 間本を1冊も読まな かった生徒 1982	6.9%	42.3%	55.7%
同 1992	11.7%	45.8%	59.6%
同 2002	8.9%	32.8%	56.0%
同 2012	4.5%	16.4%	53.2%

## 5. 2 読書推進の重要性—法的・国際的背景

### 5. 2. 1 法的背景—学校図書館法

1997. 6 に学校図書館法が改正され、2003.3.31 までに 12 学級以上の学校は司書教諭の配置が義務付けられて、読書活動促進を謳っている。本校図書館には2名の司書がいて、学生の図書選択等の手助けをしている。読書推進の啓蒙活動を展開すれば、学生たちがもっと図書館に行き、いろいろな意味で強い学生たちに成長すると期待する。

### 5. 2. 2 国際的背景

ユネスコでは2003-2012を国際識字十年とし、2010年を読書年とした。

IBBY<sup>注3)</sup>は、1953年にスイスのチューリッヒで設立された国際児童図書評議会(International Board on Books for Young People)で、世界で読書推進活動を行っている。

日本の美智子皇后は、1998年第26回IBBYニューデリー大会で、ビデオによる基調講演をされた。さらに2002年の創立50周年記念大会でも開会式にお言葉を述べられて、読書推進活動家を励まされている。

全文(美智子<sup>36)</sup>、1998)が皇室のサイトに載っている。

またコールデコット賞は世界の優れた絵本作家に贈られ、日本の加古里子<sup>37)</sup>の「だるまちゃんどてんぐちゃん」が佳作に入った。日本ではアンデルセン賞が新しい作品を募集している。

## 5. 3 意義・効用・有効性

### 5. 3. 1 文法の暗示的提示

絵本の文には当然、文法が自然と含まれている。CEF=R(欧州参照枠)で言う文法の暗示的表示であり、正しい文法が自然な形で学習されうる。Table3(下の表)ではその1例を提示した。

Table3 : Grammar Items included in Picture Books

番号	和訳の絵本がある場合のタイトル	Title	ふくまれる文法項目
1	ハリーのセーター	No Roses for HARRY!	不定詞, 接続詞 the moment / when, 付帯状況の with, let
2	あたまのうえにりんごがいくつ	Ten Apples Up On Top <sup>38)</sup>	数 1-10, 使役動詞 make / let 付帯状況の with
3	人まねこぎのジョージ	Curious George <sup>39)</sup>	感嘆文, 不定詞, would, 等

表の2の“Ten Apples Up On Top”<sup>39)</sup>は表紙に“Beginner Books, 75word vocabulary”とある。内容は、1-10の数字を子どもに見せるもので、4-5歳児対象と思われるが、文法は上記のごとく、使役動詞と付帯状況のwithが入っており、日本では高校2, 3年生でも理解している学生は少ない。4-5歳児が日常的に使うのだろうか、と思う。外国人教師に聞くと、この話の流れから必要なので使用し、子供たちの学び、理解を促す助けとする意図ではないか、と解説した。

佐々木<sup>40)</sup>(2000)は英語の絵本を内容別に分類してCD-ROMを作成している。Table3で見たように、文法項目についてもリストが必要かもしれない。そういうリストがあれば、学習させたい文法項目のある絵本を選ぶことができる。語彙レベルは絵本によっては、あるいは多読用のGR(Graded Readers)などでは記載している。

また絵本はauthentic教材である。authentic教材とは、Time, Newsweek等の週刊誌・英字新聞や、BBC, ABC, CNN等のニュース、と筆者はこれまで考えていて、高校生レベルではとうてい無理だと考えていた。しかし絵本はauthenticで、短く、易しく、物語性があるため読みやすいので、高校生や多読入門にふさわしいと考える。

### 5. 3. 2 読書の効用

矢野<sup>13)</sup>(2003)は、

「上平井小学校で1996から10分間読書が続けた結果、反抗心が消え、挨拶が弾み、笑顔・集中力・落ち着き・学力が向上し、いじめ・不登校・遅刻がなくなった」

と述べている。

クラッシュン<sup>3)</sup>(1996, pp.58-59)は、絵本とは限定しないで読書一般についてであるが、

「家庭で読み聞かせをしてもらっている子どもたちは、自分から進んで人一倍読書をする。また教師が物語を

読み聞かせたり、その物語について話し合い（文学的活動）をするとその子供たちはますます読書をする。」

クラッシュン(長倉美恵子他訳<sup>3)</sup> (pp.33-34 :日本語訳のページ) から引用する(引用の文責 :宮崎)。

「1) ピッツ(1986)では大学準備教育が不十分な学生たちが13週にわたって週に1時間の読み聞かせの授業を受けて読後の討論をしたあと、他クラスの学生たちより読書研究室から多くの良書をかりて、最終論文作成では良い成績を修めた。(大学生レベルの読み聞かせの文献はこれのみ :このコメントは宮崎)

2) 数か月にわたって物語の読み聞かせを受けた子供たちは読解力、つづり字力において優れた成績を上げている。(コーエン 1968, フェイテルソン他 1986)

3) スミスとスパニッツ (1984) によると、社長 456人は他の大人たちより語彙テストですっとすぐれた成績を取った。語彙を豊富にするための卒業後の努力は、45.5%がした、と答え、うち 45.5% (104名) が読書、と答えた。努力した人の 14% (15名) は用語集を活用、と答えている。

4) リチャード・ライト (黒人作家) は家族が読書に無理解で、不要だとして本をもやしてしまうほどだった。またマルコム Xはほとんど無学だったが、二人とも読書により高い教養を得た、と本人たちが述べている。

5) フィジー諸島では 400冊以上の蔵書を備えた図書館のある学校はそれ以下の学校より英語の得点が常に高い。」

以上のような報告が載っている。

### 5. 3. 3 読み聞かせの効用

野村<sup>41)</sup> (2004) では

「読み聞かせの本来のねらいは...本の世界へ子どもたちをさそい、...本は面白い、楽しい...と実感させる事」(省略の文責 :宮崎)

としており、多読への導入になるかと思われる。

さらに野村<sup>41)</sup> (2004) では富士見幼稚園長・柳晋氏が

「本の読み聞かせはこころのごちそう」

と述べている。筆者の実践では教室が水を打ったように静かになり、集中して聴く力が養われると思われる。

松居<sup>42)</sup> (2004) は、

「絵本は読む本ではない。読んでもらって耳からことばを受け入れる本...大人が子どもに読んであげる本だ

ということを...基本と考えたい。」

と述べている。以下は筆者の考える、読んでもらうことの効用である。

1) 聞き手は聞きながら絵本の絵に集中できる。また絵本の隅々まで見る余裕ができる。

2) 言葉の持つ音の美しさ・リズム・韻が、りくつではなく耳からわかる。

筆者は『ぐりとぐら』<sup>33)</sup>英語版を授業で読み聞かせたとき、違和感があって、読み聞かせが困難であった。『ぐりとぐら』<sup>33)</sup> (中川・大村, 1963) から和文を以下に示す。( )内の漢数字は音の数を表す。

「二人の名前は (八) ぐりとぐら (五), お料理すること (七) 食べること(五), ...ぐりぐらぐりぐら (四)」

となっていて変則七五調の日本語のリズムである。筆者にはそれがしみついているためか、英語版は、このリズムが訳せなくておそらく翻訳に苦慮されたことと思われる。筆者の読み聞かせの技術がまだつたないせいか、英訳文のリズムがうまくとりにくかった。このことから日本にも優れた絵本が多数あるが、英訳が進まないのはリズムが異なり、訳が難しいからではないだろうか。また和訳された外国語の絵本の、日本語の美しさが思い起こされる。

### 5. 3. 4 声の効用

子育て・教育で、声をかけ、手をかけることの大切さは言を俟たない。

櫻井<sup>28)</sup>(1985) では以下のような興味深い実験をしている。結果はGSR (ガルバニック皮膚反射実験・いわゆるウソ発見機) のグラフで表されているが、許可を得ていないので、グラフの転載は避ける。以下は pp.242の実験からの要約である (要約の文責 :宮崎)。

実験者 :川久保芳彦, 語り手 :櫻井美紀

GSR で被験者の感情変化を調べる。

被験者 :小学3年男子3人 :同女子2人が2人ずつ入室, 以下の実験を順を入れ替えて受けた。

実験1 :テレビ受像機に写されるアニメ映画「さるのむこどん」を見る。

同2 :テレビ受像機に写されるVTRによる語り手の語り「さるのむこどん」を見る。

同3 :語り手が入室, 向かい合って座り, 生の声による語り「さるのむこどん」を聞かせる。

その結果は、5人ともほとんど同じ反応で、

実験1 : (アニメフィルム) 最初の1. 2分間は子どもたちに感情移入が見られる。

実験2 : (語り手のVTR) 感情移入の起伏があるが、実験1よりも時間はやや短く、起伏の幅が小さい。

実験3 : (生の語り手) 最後まで感情移入があり、最後には起伏が大きくなり、語り手との共感と解釈される。

この実験は、絵やアニメよりも、語り手が目の前にいて、直接肉声で語りかける重要性を示している。

### 5. 3. 5 声に出すこと、聞くことの意義

声に出すことの重要性の1例として、井上ひさし<sup>43)</sup>(1998)から引用する。井上ひさしは戯曲を書くときには文を実際に声に出して推敲しなければならないとして、

「筆者(注:井上ひさしのこと)は黙阿弥を黙読していた。」

と書いており、音読すべきであった、と文脈から解釈される。井上は河竹繁俊から引用して、戯曲の訂正にあたって

「黙阿弥は...机に向ってなおよす間は、いつもむにやむにや読みながら筆を入れたそうである...つまりなおし方も意味からは行かないで、耳に響き、口に出した場合の、音調を先ず尊んだからであろう。」

「黙阿弥の本読みは有名で、台本を役者の前で披露する... (役者は一この主語の挿入の文責:宮崎一)、その本読みをじっと聞いていて、あるいは泣き、あるいは笑いつし...実に面白かったそうである。」(引用部分の口語訳と現代仮名遣いの文責:宮崎)

と書いており、「いわゆる文学とは違い...戯曲の場合はこれが正しい。」と井上<sup>43)</sup>は言っている。

声に出して言う、あるいは語ることの重要性を井上は指摘している。筆者(宮崎)が思うに、ことばはリズム・音調が大切である。文字のない言語はあっても、音声のない言語は、手話をのぞいては存在しない。読み聞かせの意義の一つはここにある。外国語学習でシャドーイング・チャンツが重要なのは、音の流れ、リズム、音調、上がり下がりが学べるからである。英語の絵本の読み聞かせには、学習者にそれが絵とともに耳から入る、という効用がある。

また脳を刺激する、という説もある。(泰野<sup>44)</sup>2009)

## 6. おわりに

英語の絵本の読み聞かせについて実践と考察を述べた。英語の絵本の読み聞かせが、中・高・高専・大学生に向けて行われることを望む。小学校の英語教育で悪戦苦闘しつつ、先生方が取り組んでこられたことから、中・高・高専・大学の教師はもっと学ぶことがあるのではないかと考える。また英語教育がもっと「文字テク

ストから音の習得へ」と流れが変わることを期待する。

## 7. 引用文献

- 1) トレリース, ジム, 亀井よし子訳 :「読み聞かせ〜この素晴らしい世界, 高文研, 1987. Jim Trelease : THE READ-ALoud HANDBOOK(1985 edition) 1985.
- 2) カルキンス, ルーシー : リーディングワークショップ, 吉田信一郎・小坂敦子訳, 新評論, 2010.7. CALKINS, LUCY MCCORMIC : THE ART OF TEACHING READING, Pearson Education, Inc., 2001.
- 3) クラッシュェン, スティーブ : 読書はパワー, 長倉美恵子他訳, 金の星社, 1996. Stephen D. Krashen : THE POWER OF READING Insights from the Research, Englewood, Colorado USA, 1993.
- 4) 宮崎操 : リーディングマラソンと訳読・チャンクリーディング・シャドーイングが読解力に及ぼす影響, 『舞鶴工業高等専門学校紀要』(第44号), pp.62-68, 2009.
- 5) 江利川春雄 : 英語教科書から消えた文学, 英語教育, vol. 53, No. 8 (10月増刊号), 大修館書店, pp15-18, 2004.
- 6) 宮崎操 : Jazz Chants のスピーキング能力に対する効果, 日本英語コミュニケーション学会 (JASEC) 年次大会口頭発表資料, 2011.
- 7) 宮崎操 : Jazz Chants の指導とリスニング力向上への効果, THE JASEC BULLETIN21, (日本英語コミュニケーション学会紀要) 第21巻1, 2012.11.
- 8) 松浦友里・伊藤英 : 小学校外国語活動における英語絵本の導入効果に関する実践研究 : 第2言語習得研究におけるインプット理論の視点から, 岐阜大学カリキュラム開発研究, 2012.
- 9) 山崎友子 : 小学校高学年での英語活動の指導のために一フォーカス・オン・フォームの英語指導理念を取り入れた英語絵本の読み聞かせ, 教育展望, 2009.
- 10) 小松幸子・西垣知佳子 : インタラク션을促す英語絵本の読み聞かせとその効果, 小学校英語教育学会紀要, 2007.
- 11) 前島康男 : 大学教育と絵本の世界上巻, 創風社, 1998.
- 12) 脇明子 : 読む力は生きる力, 岩波書店, 2005.
- 13) 矢野文夫 : 読み聞かせが子どもを救う, 埼玉新聞社, 2003.
- 14) ミーク, マーガレット : 読む力を育てる—マーガレットミークの読書教育論, こだまともこ訳, 柏書房, 2003. Meek, Margaret : Learning to read, The Random House Group Ltd., 1982.
- 15) 本田好, 本田すみ江 : 読みがたり基本と実践, 第一企画, 2009.

- 16) 三宅興子 : 日本における子ども絵本成立史「子どものとも」が果たした役割, ミネルヴァ書房, 1997.
- 17) 樺島忠夫, 宮地裕他 31 名 : 中学校国語 1, 光村出版 2012.
- 18) 稲賀敬二, 竹盛天雄 : 高等学校 新訂国語総合 古典編, 第一学習社, 2010.
- 19) ヘリング, アン : 江戸児童図書へのいざない, くもん出版, 1988.
- 20) 桂侑子編著 : 初めて学ぶ英米絵本史, ミネルヴァ書房, 2011.2.
- 21) アーバスノット : Children and Books, 子どもと本, 1947.
- 22) コメニウス : 世界図絵, 1658, 1659 英訳版.
- 23) 松居直 : 声の文化と子どもの本, 日本キリスト教団出版局, 2007.
- 24) 鳥越信 : 初めて学ぶ絵本史 I, ミネルヴァ書房, 2001.
- 25) 同 a : 初めて学ぶ絵本史 II, ミネルヴァ書房, 2002.
- 26) 同 b : 初めて学ぶ絵本史 III, ミネルヴァ書房 2002.
- 27) ビューイック : 新年の贈り物, 1777.
- 28) 櫻井美紀 : 子どもに語りを, 椋の木社, 1986.
- 29) 舞鶴市 : 舞鶴市立図書館平成 22 年度年報, 2010.
- 30) 飯野和好 : ねぎぼうずのあさたろう, 1999.
- 31) Zion Gene, Pictures by Margaret Bloy Graham : No Roses for HARRY!, Harper Collins Publishers, 1958.
- 32) Zion Gene, Pictures by Margaret Bloy Graham : HARRY The Dirty Dog, Harper Collins Publishers.
- 33) 中川李枝子, 大村百合子 : ぐりとぐら, 福音館書店, 1963. Rieko Nakagawa and Yuriko Ohmura, translated by Howlet Peter, Mc Namara Richard, *Guri and Gura*, Tokyo.
- 34) Carle, Eric : The Very Hungry Caterpillar, Hamilton, 1969.
- 35) バートン, バージニア・リー, 石井 桃子訳 : ちいさいおうち, 岩波の子どもの本, 1981. Barton Lee Virginia: The little House, Boston, Houghton Mifflin Co., 1978.
- 36) 美智子 : 橋をかける 子供時代の読書の思い出, すえもりブックス, 1998. 文春文庫 2009.
- 37) 加古里子 : だるまちゃん と てんぐちゃん, 福音館書店, 1967.
- 38) Theo Le Sieg, Roy McKie : Ten Apples Up On Top!, Random House, NY, 1961, あたまのうえにりんごがいくつ, たむらりゅういち訳, 1983.
- 39) H. A. Rey : Curious George, Houghton Mifflin Company, Boston, 1941.
- 40) 佐々木宏子 : 絵本の心理学内容別データベース CD, 新曜社, 2000.
- 41) 野村昇司 : 子育てに絵本の読み聞かせを, 銀河社, 2004.
- 42) 松居直 : 絵本を読む, 日本エディターズスクール, 2004.
- 43) 井上ひさし : 悪党と幽霊, もとの黙阿弥, 新潮文庫, 1998.
- 44) 泰羅雅登 「読み聞かせは心の脳に届く 2009. 7, くもん出版.
- 注 2) <http://macs.mainichi.co.jp/space/web041/02.html> : 毎日新聞 広告局ウェブサイト.
- 注 3) [www.jbby.org/ibby/index.html](http://www.jbby.org/ibby/index.html) : IBBY のウェブサイト.

(2012. 12. 7 受付)

注 1) : 4. 4 アンケート結果 Table 4 : The results of Questionnaire for Class 1-1 in Feb. 2012.

1 年 1 組	yes	No	父	母	両方	幼稚園	その他	
子どものとき 読んでもらった	27	13	2	17	5	1	3	いろいろな人に読んでもらった, 無記入
本を読むのは好き	33	6					6	まあまあ好き
ハリーのセーターは 面白かった	31	9					2	
眠かった	21	17					3	少し, うとうとした
また読んでほしい	31	11						
絵本読みは不要	3	38					1	
つまらない	7	33					2	

アンケートの自由記述 : 訳してほしい 4, もっといろいろ読んでほしい 11, 図書館の英語の絵本を紹介してほしい 1, 歌の方が良い 2 (このクラスでは Country Roads 等の歌も指導している.)



## Reading Aloud Picture Books Aiming to Nurture Students' Heart

Misao MIYAZAKI

**ABSTRACT** : Very few teachers read aloud English picture books to senior high or college students in Japan. Is it unnecessary or too late for them? Trelease says “From elementary to senior high, picture books are needed on the reading-aloud list”.

Kalkins, Krashen and Trelease say reading aloud to students is very important. Before students' reading of books written in English, it is necessary and useful for students to look at English picture books while listening to a teacher reading them aloud in English. In my classes students enjoyed looking at them and listening very quietly to the teacher reading aloud. This paper reports how it goes and why it is necessary.

**Key Words** : *Reading aloud, Survey on Reading Habit, Lingering moment, Taketori-Monogatari-Emaki, Choujuu Giga, 10 Minute Morning Reading*